

7 数に親しもう

*数量・図形、文字等への関心・感覚
*社会生活との関わり
*思考力の芽生え

<身近な環境から数に気づいていこう> 3歳児～

ねらい ◎生活の経験から数に興味・関心をもつ
◎身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりしそれを生活にとり入れる

毎日の生活から ○お便り帳（月日）にシールを貼る ○出席調べをする ○園からの手紙を友だちに配る



今日は5やね。どのシールをはろうか

規則性などの発見

★カレンダーやホワイトボードなどに行事や活動の日程を書いて、その時々で紹介をし、幼児が興味をもって見るができるようにする。



グループの友だち一人休んでいるから3枚ください

友だちへの関心・役割意識

○グループ単位で出席調べをする。友だちの人数を数える。

△教師は様々な数の数え方があることを意識しながら、幼児と一緒に数えるようにする。ひとつ・ふたつ、一番目、二番目を使い分ける。



○手紙を折る。（半分にする）
○グループの友だちの数だけ手紙を取りに来る。

保育室の環境から ★誕生表



私は2月生まれ、○ちゃんと一緒にだよ

▲誕生日や同じ月に生まれた友だちの数など様々な数字に触れる。

▲グループ表を通してグループの人数など認識する。

★グループ表



長い針が6になったらお片づけしようね



★時計



○使ったものを片づける
△目印、表示を付けて片づけやすいようにする。
△使用前、後の片づけやすいようにする。

△日常経験する事物について、数・長さ・広さ・高さ・形などを表す簡単な日常語を使って話す。（いくつ・何人・何匹・長い・短い・広い・狭い・高い・重い・丸い・四角）等

★積木の片づけ



工夫する

遊びの中の豊かな学び

- ・自発的な活動の中で、幼児は数量の概念を学ぶことができる
- ・物との関わりを通して、幼児自身が必要な数量を考えられるようになる
- ・様々な場面で数量を考えていく中で、実数と数字を関係づけ数字の意味を理解する

評価の観点

- ・幼児が遊びを通して自然に数量を考慮することができる環境設定や言葉かけはできているか
- ・幼児は遊びや生活の中で数量などに親しむ体験ができているか